

つばめ通信

12月号



令和6年12月6日

朝雲分けて 燕帰りぬ プランタスの里に 幾千里 日本生まれの子を励まして われらスラバヤの子 燕に学ぶ 努力の証

「あいさつ」と「ことば」

校長 福田 栄喜

12月2日の全校朝会では、子どもたちに二つの詩を紹介しました。一つは「あいさつ」、もう一つは「ひとつのことば」です。「あいさつ」は人とのつながりの中で、「ことば」は物事を考える上で最も重要です。ことばが豊かになると、感情も豊かに表現できるようになり、自制心も育ちます。子どもたちには、気持ちのよい「あいさつ」を家庭や学校などで交わし、「ことば」の力を育ててほしいと思います。

「あいさつ」

福島 圭一郎 作

「おはよう」というと目が覚める
「いただきます」というとおなかがよく
「いってきます」というと元気にいける
「ありがとう」というと気持ちがいい
「ごめんなさい」というとほっとする
「おやすみなさい」というといい夢みられる
あいさつってうれしいな

□あいさつ

学校や家庭など、いろいろな場所で出会う皆さんにしっかり「あいさつ」を届けてほしいです。

「あいさつ」は、気持ちを通い合わせるきっかけになります。自分がされてうれしい挨拶を、友達や家族などの皆さんにしてほしいです。

「ひとつのことば」

北原 白秋 作

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなかおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を 持っている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

□ことば

自分の思いを伝えるときや相手の考えを知る時の基盤になるのは「ことば」です。夕食後などに一日の出来事などを話したり、聞いたりするなど、いろいろな会話をしてほしいです。

保護者の皆様には、引き続き本校教育活動へのご理解とご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

■お知らせ (小中学部入学案内→入学手続きに関する書類→日本から持参していただく学用品等) 学校ホームページの2025年度用「日本から持参していただく学用品等」を更新しました。ご確認をお願いいたします。一時帰国等の際に、ご準備をお願いいたします。